

## 退 職 に 際 し て

新 井 久 男 (事務)

12月31日付で定年退職することになりました。昭和52年7月1日付で、理学部事務長として赴任してから2年6ヶ月になりますが、つい先日のように思われます。

就任してから、あれもこれもと計画を樹てて現

在に至りましたが、その半分も実施することができずに去ることは、いささか残念に思います。

理学部に在職中、附属中間子科学実験施設、附属地殻化学実験施設が発足し、情報科学科に専門課程が設置され、御手伝いのできたことをうれし

く思います。その他人事関係では、行政職員の他大学、他学部との交流の推進を計ってまいりましたが、異動した当人には喜ばれた反面、教室には御迷惑をかけたのではないかと思います。

建物関係では、2号館の改修が出来、1号館の増築部分の外壁タイル張りやサッシュ塗装の予算がつきましたので、年度内には外観はきれいになることでしょう。化学館の新築計画は、旧化学館の保存について問題がありましたが、マスタープラン委員会と一応の話合いができ、現在は化学教室と施設部とで、プランを練っておりますので、一日も早く着工の運びとなることを祈ってやみません。

省みますれば、昭和12年工学部に無給嘱託として就職し、現在まで兵役と千葉大学に3年間転出した外は、東京大学の職員として第二工学部、生産技術研究所、施設部、宇宙線研究所、原子核研究所、東京天文台を経て理学部にまいりました。現役の最後の職場が、大学の中核である理学部であったことは非常にうれしく思います。

短い期間ではありましたが、学部長はじめ皆様よりうけた御支援と御懇情に対し厚く御礼申し上げますとともに、在職中の非礼を御許し願いたく、退官に際しての御挨拶いたします。

(昭54. 12. 6記)